

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 ナビタス株式会社
 コード番号 6276 URL <http://www.navitas.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 中村 弘一
 (氏名) 眞柄 光孝

TEL 072-244-1231

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,538	4.5	164	△12.9	145	△31.7	79	△24.5
20年3月期第3四半期	3,385	50.4	189	—	213	927.5	105	730.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	15.03	—
20年3月期第3四半期	19.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	5,853	73.9	4,323	72.0	—	—	823.45	—
20年3月期	6,091	—	4,388	—	—	—	819.89	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,323百万円 20年3月期 4,388百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,488	△6.5	93	△76.8	72	△82.8	36	△79.1	6.77

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,722,500株 20年3月期 5,722,500株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 472,599株 20年3月期 370,167株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,319,659株 20年3月期第3四半期 5,380,652株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により異なる結果となる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における経済情勢は、米国に端を発した金融危機の影響により消費や生産が落ち込み、第3四半期以降も全世界的な規模で景気の減速が急激に進行しております。また、円高の影響により企業収益の悪化が更に深刻になるなど、非常に厳しい状況で推移しております。

このような厳しい経済情勢の中、当社グループは特殊印刷の基本技術を基軸にし、それらを支える周辺技術の確立とそれらの技術をお客様への積極的な提案営業を展開し、市場の要求にお応えすべく事業活動を展開いたしました。

この結果、当第3四半期における売上高は35億38百万円（前年同期は33億85百万円）、営業利益は1億64百万円（前年同期は1億89百万円）、経常利益は1億45百万円（前年同期は2億13百万円）、当期四半期純利益は79百万円（前年同期は1億5百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比較して2億37百万円減少し、58億53百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億82百万円、受取手形及び売掛金が2億2百万円、固定資産が29百万円それぞれ減少し、その他の流動資産が1億14百万円増加したことによるものであります。負債は、前連結会計年度末と比較して1億72百万円減少し、15億30百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1億3百万円、未払法人税等が1億3百万円減少したことによるものであります。純資産は、前連結会計年度末と比較して65百万円減少し、43億23百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億82百万円減少し、18億10百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、56百万円の収入（前連結会計年度末は7億36百万円の収入）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上1億41百万円、減価償却費の計上86百万円、売上債権の減少2億51百万円、仕入債務の増加1億49百万円及び法人税等の支払額の減少2億2百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、1億円の支出（前連結会計年度末は35百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出39百万円、投資有価証券の取得による支出49百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは1億15百万円の支出（前連結会計年度末は2億65百万円の支出）となりました。これは自己株式の取得による支出34百万円、配当金の支払80百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的な金融危機に端を発する景気の急減速や円高による企業業績の圧迫がその度合いを強め、今後さらに厳しい経済状況が続くものと予想されます。

このように経済環境が急激に悪化する中、当社グループといたしましては、拡販対策やコスト削減等諸施策を鋭意推進努力してまいりましたが、受注の大幅減少及び為替や株価変動の影響を受け、平成20年5月19日に公表いたしました平成21年3月期連結業績及び平成21年3月期個別業績予想を修正いたしました。詳しくは、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性の低下による簿価の切下げの方法)に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行い、改正後の法人税法に基づく耐用年数に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,810,232	1,993,010
受取手形及び売掛金	1,017,715	1,219,913
商品及び製品	117,074	103,231
原材料及び貯蔵品	93,508	88,474
仕掛品	378,684	329,167
その他	230,079	122,064
貸倒引当金	△3,455	△3,240
流動資産合計	3,643,839	3,852,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	675,753	685,124
土地	1,027,570	1,027,570
その他(純額)	104,632	114,801
有形固定資産合計	1,807,956	1,827,496
無形固定資産		
投資その他の資産	59,011	78,579
投資有価証券	220,614	213,951
その他	124,627	118,834
貸倒引当金	△2,640	△80
投資その他の資産合計	342,601	332,705
固定資産合計	2,209,569	2,238,782
資産合計	5,853,409	6,091,404
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,113,169	1,216,700
未払法人税等	26,578	129,589
賞与引当金	18,231	50,114
その他	156,213	95,767
流動負債合計	1,314,193	1,492,172
固定負債		
退職給付引当金	45,567	49,144
役員退職慰労引当金	168,108	159,288
その他	2,500	2,500
固定負債合計	216,175	210,933
負債合計	1,530,368	1,703,105

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,075,400	1,075,400
資本剰余金	942,600	942,600
利益剰余金	2,493,790	2,493,726
自己株式	△184,128	△150,407
株主資本合計	4,327,661	4,361,319
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,693	18,221
為替換算調整勘定	7,073	8,758
評価・換算差額等合計	△4,620	26,979
純資産合計	4,323,041	4,388,298
負債純資産合計	5,853,409	6,091,404

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,538,205
売上原価	2,617,710
売上総利益	920,495
販売費及び一般管理費	755,609
営業利益	164,885
営業外収益	
受取利息及び配当金	7,468
受取賃貸料	10,402
雑収入	2,339
営業外収益合計	20,210
営業外費用	
為替差損	32,576
雑損失	6,521
営業外費用合計	39,098
経常利益	145,997
特別損失	
投資有価証券評価損	4,617
その他	229
特別損失合計	4,847
税金等調整前四半期純利益	141,150
法人税、住民税及び事業税	60,344
法人税等調整額	863
法人税等合計	61,208
四半期純利益	79,942

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	141,150
減価償却費	86,367
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,774
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,817
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,577
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,819
受取利息及び受取配当金	△7,468
支払利息	1,201
為替差損益 (△は益)	23,186
有形固定資産除売却損益 (△は益)	224
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,617
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,023
売上債権の増減額 (△は増加)	251,472
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,498
仕入債務の増減額 (△は減少)	△149,291
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,413
その他	△10,103
小計	252,495
利息及び配当金の受取額	7,468
利息の支払額	△1,201
法人税等の支払額	△202,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△39,492
無形固定資産の取得による支出	△16,575
投資有価証券の取得による支出	△49,963
出資金の分配による収入	5,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,430
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△34,437
配当金の支払額	△80,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,745
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△182,778
現金及び現金同等物の期首残高	1,993,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,810,232

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	1,366,869	11,195	1,378,064
II 連結売上高(千円)			3,538,205
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	38.6	0.3	38.9

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する国または地域の主な内訳は次のとおりであります。
 アジア：中国、タイ、香港、韓国、インドネシア等
 その他：アメリカ等
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	3,385,890
II 売上原価	2,504,067
売上総利益	881,823
III 販売費及び一般管理費	692,529
営業利益	189,294
IV 営業外収益	
1. 受取利息及び受取配当金	7,224
2. 雑収入	31,452
営業外収益合計	38,676
V 営業外費用	
1. 支払利息	209
2. 雑損失	14,004
営業外費用合計	14,213
経常利益	213,757
VI 特別利益	2,107
VII 特別損失	5,088
税金等調整前 四半期純利益	210,775
税金費用	104,907
四半期純利益	105,867